

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成 27 年度 第 1 回 幹事会

平成 27 年 4 月 27 日
糸魚川市役所 203・204 会議室

1 開会

2 担当者紹介

3 審議事項

総会議案

平成 26 年度事業報告について	第 1 号議案
平成 26 年度収入支出決算について	第 2 号議案
平成 27 年度事業計画（案）について	第 3 号議案
平成 27 年度収入支出予算（案）について	第 4 号議案
規約の改正（案）について	第 5 号議案

4 その他

今後のスケジュールについて

5/13（水） 総会（16：00～ヒスイ王国館）

平成 27 年度
北アルプス日本海広域観光連携会議

通常総会資料



日 時 平成 27 年 5 月 13 日

会 場 ヒ ス イ 王 国 館

平成 26 年度 事業報告について

会議の開催

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として 7 回開催した。

- ・ 第 1 回 広域観光連携専門委員会（平成 26 年 4 月 15 日開催）
- ・ 第 2 回 広域観光連携専門委員会（平成 26 年 5 月 14 日開催）
- ・ 第 3 回 広域観光連携専門委員会（平成 26 年 6 月 30 日開催）
- ・ 第 4 回 広域観光連携専門委員会（平成 26 年 8 月 19 日開催）
- ・ 第 5 回 広域観光連携専門委員会（平成 26 年 10 月 2 日開催）
- ・ 第 6 回 広域観光連携専門委員会（平成 26 年 12 月 11 日開催）
- ・ 第 7 回 広域観光連携専門委員会（平成 27 年 3 月 10 日開催）

幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に 2 回開催した。

- ・ 第 1 回 幹事会（平成 26 年 4 月 24 日開催）
- ・ 第 2 回 幹事会（平成 26 年 12 月 16 日開催）

平成 26 年度の取り組み

(1) P R 用チラシの作成

189,000 円

- ・ 北アルプス日本海広域観光連携会議の設立と連携を P R していくためチラシ（ A 4 両面カラー・20,000 枚）を作成した。

表面



裏面



(2) P R用のぼり旗の製作 203,256 円

- ・ 連携会議のP R用のぼり旗(100枚)、ミニのぼり旗(40本)を製作し露出機会の拡大を図った。



(3) T V番組の放映 1,325,512 円

- ・ 夏休みの集客と北陸新幹線開業前P Rとして、連携6市町村の観光情報を首都圏及び北陸・信州エリアに放映。(「もうすぐ夏休み・遊びつくそう海と山!」放送日時: 6月中旬~7月中旬 SBC 信越放送)
- ・ 開業直後の糸魚川駅や上越妙高~糸魚川間の車窓の様子を放映し、誘客促進を図る。(3/21 放送・NST「スマイルスタジアム」)

(4 - 1) 誘客キャンペーンの実施(7/5・JR 大宮駅) 詳細別紙 704,608 円

- ・ JR 大宮駅西口イベント広場において、北陸新幹線の開業と連携会議のP Rを行う。
- ・ パンフレットの配布や連携6市町村の特産品が当たるガラポン抽選会などにより賑わいを創出した。

(4 - 2) 誘客キャンペーンの実施(1/9~18・東京ドーム) 詳細別紙 1,726,337 円

- ・ 全国の食と祭りをテーマにした国内最大級のイベント「ふるさと祭り東京」に出展。
- ・ 連携6市町村のパンフレット配布や特産品の販売を通じ、北陸新幹線開業情報と連携会議のP Rを行った。

(5) 広域観光P Rの実施 0 円

- ・ 連携会議の各団体がそれぞれで行うイベントやキャンペーンにおいて、連携会議の情報を発信し、認知度向上を図った。

(6) ホームページの運営管理 300,000 円

- ・ 内容を見直したほか、新たにフェイスブックを開設し、新幹線開業準備情報のほか、各団体の観光イベントの紹介など新鮮な情報の提供に努めた。

(7) 広域旅行商品の展開

1,303,876 円

- ・ 9/9～11 にかけて、旅行会社の団体ツアー企画担当者や業界誌記者を招き、旅行商品視察会と「新しい旅」発表会を開催した。地域特性を生かした広域旅行商品を提案し、その魅力を伝えるとともに、旅行商品の販売強化を依頼した。(12社13名参加)



マスコミ等掲載実績

- ・「旅の手帖」11月号掲載、(株)旅行新聞社
- ・ニュース放送2社(BSN新潟放送、UX新潟テレビ21)
- ・新聞掲載5社(読売新聞、新潟日報、糸魚川タイムス、朝日新聞、信濃毎日新聞)

その後の商品販売状況(4件)

びゅうトラベルサービス・大人の休日倶楽部

『北アルプスと日本海 豊かな文化・芸術と冬の味覚満喫の旅』

内容:大町山岳博物館(大町市)、ラ・ネージュ東館、菊池哲夫山岳フォトアートギャラリー(以上、白馬村)、道の駅小谷(小谷村)、玉翠園・谷村美術館、道の駅マリンドリーム能生(以上、糸魚川市)、越後高田街歩き(上越市)

出発日:2月19日

日本旅行・ジパング倶楽部

『つつじ、さつき、藤、花めぐり庭めぐり』

内容:藤まつり、月華山かねこつつじ園(以上、糸魚川市)、護国寺(朝日町)

出発日:5月10日

日本旅行・ジパング倶楽部

『あじさい、ラベンダーめぐり』

内容:相馬御風宅、加賀の井酒造、大王あじさい園(以上、糸魚川市)ハーバルバレーおがわ、小川温泉元湯ホテルおがわ、なないろKAN(以上、朝日町)

出発日:6月25日、6月29日、7月5日、7月10日

びゅうトラベルサービス・大人の休日倶楽部

『夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化にふれる2日間』

内 容:高田公園、岩の原葡萄園(以上、上越市)、

フォッサマグナミュージアム(糸魚川市)、百河豚美術館(朝日町)、

姫川源流自然探勝園(白馬村)、大町山岳博物館(大町市)

出発日:7月30日

(8) 広域観光パンフレットの作成

2,895,742 円

- ・ 個人旅行客が手にもって動けることを想定した、エリア内の魅力を発信する広域観光パンフレット(A4判16ページ中綴じ製本20,000部+増刷10,000部)を作成した。



(9) 8/5 W7系車両歓迎見学会

0 円

- ・ W7系車両の歓迎見学会に連携会議の構成団体から参加をいただいた。

(10) 10/13 北陸新幹線糸魚川駅完成見学会

649,646 円

- ・ 連携会議市町村内に居住する住民を対象に、新幹線駅舎見学と糸魚川市内の観光を実施し、機運の醸成と新幹線の利用促進を図る。大町市発着コース36名、白馬・小谷発着コース27名、朝日町発着コース19名、上越発着コース4名の計86名が参加。



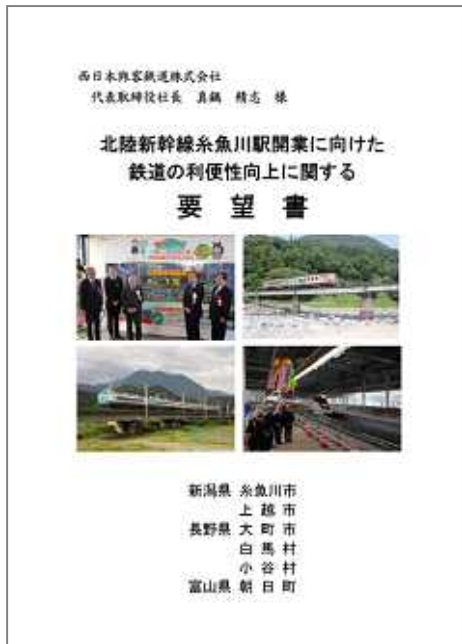
(11) 要望書の提出

0 円

- ・ 糸魚川駅の利便性向上と利用促進に向け、「北陸新幹線糸魚川駅開業に向けた鉄道の利便性向上に関する要望書」を J R 西日本、東日本に提出する。

5 月 30 日 西日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長・真鍋精志さま 宛

8 月 18 日 東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長・富田哲郎さま 宛



(12) 認知度調査および開業効果測定事業

1,056,996 円

- ・ 当地域および北陸新幹線開業前後の認知度調査を行うことで、今後の戦略を立てるうえでの効果検証資料の取得を行う。



(13) スタッフジャンパーの作成

103,518 円

- ・ 連携会議のロゴマーク、キャッチフレーズが入ったスタッフジャンパーを北陸新幹線系魚川駅開業記念事業実行委員会と共同で作成。イベントで着用することでPRに努めた。



(14) 北陸新幹線系魚川駅開業記念イベントの参加 (3/14)

32,758 円

- ・ 各市町村のマスコットキャラクターによる到着列車のお出迎えや、ステージイベントでの観光PRを通じ、おもてなしと誘客の促進を図る。
- ・ 各市町村から物販出展していただき、賑わいを創出するとともに、地元特産品のPRにつなげた。



(15) その他

166,752 円

- ・ 北陸新幹線系魚川駅開業パンフレットを増刷 (5,000部) し、各種イベントやキャンペーンで配布する。
- ・ 開業直前期に業界紙へ北陸新幹線系魚川駅開業広告を掲出し、認知度向上を図る。(「旬刊旅行新聞」2月21日号掲載)



北アルプス日本海広域観光連携会議 誘客キャンペーン実施報告

1. 首都圏誘客キャンペーン

北陸新幹線糸魚川駅の開業を見据え、首都圏エリアを対象として認知度向上と誘客促進を図るためのキャンペーンを実施した。

期日 平成 26 年 7 月 4 日（金） 15：30～17：00
会場 テレビ埼玉（さいたま市浦和区）
内容 夕方の情報番組“ごごたま”に生出演し、北陸新幹線糸魚川駅開業情報を含む観光情報の紹介と、翌日の大宮駅での観光キャンペーンの告知を行う。出演時間は 10 分。5%の視聴でエリア人口 36 万人以上が視聴と推定。



期日 平成 26 年 7 月 5 日（土） 10：00～15：00
会場 JR 大宮駅 西口イベント広場
内容 連携市町村のパンフレットの配布、観光大使による情報発信、ゆるキャラ撮影会、ヒスイアトラクション、ガラポン抽選会等。
参加者 糸魚川市観光協会 3 名、糸魚川地域振興局 2 名、糸魚川市 5 名、小谷村 1 名、小谷村観光連盟 1 名、糸魚川駅 5 名
その他 アンケートの実施により 500 サンプルを回収
主催 糸魚川市観光協会



2.ふるさと祭り東京 ～日本のまつり・故郷の味～

北陸新幹線糸魚川駅開業直前期に認知度向上と誘客促進を図るため出展。
期間中、各自治体持ち回りでPRを行った。

期日	平成27年1月9日(金)～18日(日)
会場	東京ドーム(東京都文京区)
内容	6市町村の観光パンフレットの配布と特産品の販売、ガラポン抽選会、観光大使によるステージイベント。
参加者	糸魚川市4名、上越市、大町市、白馬村、小谷村、朝日町から各2名、糸魚川市観光協会2名、観光大使3名(上越さくら大使、大町レディース、ヒスイレディ)
主催	フジテレビほか



平成26年度 収入支出決算

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	10,127,000	10,127,000	0	
1.負担金	6,469,000	6,469,000	0	糸魚川市
	859,000	859,000	0	上越市
	1,073,000	1,073,000	0	大町市
	327,000	327,000	0	白馬村
	113,000	113,000	0	小谷村
	486,000	486,000	0	朝日町
	800,000	800,000	0	新潟県
2.補助金	0	0	0	
3.雑収入	200,888	694,881	493,993	総会交流会費、預金利息、物販収入、市民見学会参加費
4.繰越金	2,672,112	2,672,112	0	
計	13,000,000	13,493,993	493,993	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1.事業費	11,850,000	10,658,001	-1,191,999	
広告宣伝事業費	4,050,000	3,514,150	-535,850	パンフレット等
誘客宣伝事業費	6,810,000	6,161,447	-648,553	新しい旅発表会、ふるさと祭り等
イベント関連事業費	690,000	682,404	-7,596	市民見学会等
ホームページ運営費	300,000	300,000	0	ホームページ運営管理
2.連携会議運営費	1,150,000	1,102,966	-47,034	
会議費	300,000	299,390	-610	総会、幹事会、専門委員会
事務委託費	800,000	800,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	50,000	3,576	-46,424	消耗品、収入印紙購入
計	13,000,000	11,760,967	-1,239,033	

収入13,493,993円 - 支出11,760,967円 = 差引1,733,026円 は次年度に繰り越す

平成27年度 事業計画（案）について

事業概要

広域観光連携のメリットを生かしたこれまでの取り組みを継続させるとともに、開業効果を生かした事業を実施、加速させていく。

事業計画

1 会議の開催について

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う機関として、事業計画を推進する。

幹事会

重要事項の審議のほか、連携会議の円滑な運営を補助することを目的に開催する。

2 平成27年度事業について

(1) 広域観光PR

広告宣伝事業

広域観光パンフレットの作成（継続） 450,000 円

- ・ 前年度に作成した“新しい旅”パンフレットの訂正増刷を行う。
- ・ それぞれの自治体で積極的に活用してもらうことで、エリアの認知度向上と誘客の促進を図る。

誘客宣伝事業

周遊型広域旅行商品の販売促進（継続） 1,000,000 円

- ・ 広域観光連携を生かした旅行商品の企画、販売を継続する。

認知度調査および開業効果測定事業（継続） 900,000 円

- ・ 新幹線開業前後での意識の変化、人の流れを数値的に把握し、前年度の実施結果と比較することで誘客施策の効果検証を行う。

出身タレントの活用（継続） 600,000 円

- ・ それぞれの市町村で季節に応じて撮影する観光紹介動画を You Tube にアップし情報発信を行うことで、認知度向上と誘客の促進を図る。

観光キャンペーンの実施（継続）	1,000,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 誘客の促進、また連携会議の連帯意識の向上を図るため、合同による観光キャンペーンを実施する。 ・ 安価で効果の高いPR活動を目指す。 	
記念切手シートの作成（新規）	1,310,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携会議オリジナルの記念切手シートの作成と販売を通じ、北陸新幹線開業の話題喚起と誘客宣伝を図る。 	
TV番組の誘致活動（継続）	100,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ メディアの露出機会を探り、誘致促進を図る。 	
広域観光PRの実施（継続）	0 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携会議市町村が首都圏や関西圏等で実施、出展するイベントやキャンペーンにおいて、北陸新幹線開業PRと連携会議の魅力を発信する。 	

ホームページ運営事業

ホームページの運営管理（継続）	300,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力あるコンテンツを発信することで、誘客宣伝と認知度の向上を図る。 	

(2) 地域内PR

イベント事業

出店支援事業（新規）	200,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線開業後の賑わいを継続するため、糸魚川駅周辺で開催されるイベントへ連携会議エリア内に所在の事業者等（糸魚川市内の事業者を除く）が出店する場合の支援を行う。 	
住民見学会の開催（継続）	645,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携会議市町村内に居住する住民を対象に、糸魚川駅及び周辺観光地の見学ツアーを実施し、住民意識の醸成と新幹線の利用促進に繋げる。 	
開業後記念イベントの参加（新規）	98,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線糸魚川駅開業記念事業実行委員会が主催する開業後記念イベント（平成27年10月・平成28年3月を予定）に参加し、開業後の盛り上がり発信するとともにエリアの交流人口の拡大に繋げる。 	

(3) 二次交通

二次交通

二次交通整備拡充事業（新規） 3,500,000 円

- ・ 観光客にオンデマンドの利便性を提供するため、二次交通の整備やサービスの提供を行う。

二次交通ビジョンの策定（新規） 0 円

- ・ 二次交通の可能性と充実化を図るため、将来に向けた実効性の高い交通ビジョンと誘客展開案を策定する。

平成27年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	H26予算額	H27予算額	説 明
1. 負担金	10,127,000	8,089,000	
	6,469,000	5,000,000	糸魚川市
	859,000	630,000	上越市
	1,073,000	890,000	大町市
	327,000	275,000	白馬村
	113,000	94,000	小谷村
	486,000	400,000	朝日町
	800,000	800,000	新潟県
2. 補助金	0	0	
3. 雑収入	200,888	1,430,974	総会交流会費、預金利息、切手シート売上
4. 繰越金	2,672,112	1,733,026	前年度繰越金
計	13,000,000	11,253,000	

【支出の部】

科 目	予算額	予算額	説 明
1. 事業費	11,850,000	10,103,000	
広告宣伝	4,050,000	450,000	パンフレット印刷
誘客宣伝	6,810,000	4,910,000	誘客活動、旅行商品の販売等
イベント関連	690,000	943,000	開業後関連イベント等
二次交通	0	3,500,000	二次交通の整備拡充
ホームページ運営費	300,000	300,000	ホームページ管理費
2. 連携会議運営費	1,150,000	1,150,000	
会議費	300,000	300,000	総会、交流会等
事務委託費	800,000	800,000	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	50,000	50,000	消耗品、事務通信費等
計	13,000,000	11,253,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

北アルプス日本海広域観光連携会議 規約改正（案）

新旧対照表

新	旧
<p>（目的）</p> <p>第2条 連携会議は、<u>北陸新幹線系魚川駅を中心とした周辺市町村及び関係団体との</u> 広域観光連携を推進するため、北アルプス日本海広域観光連携行動計画（以下「行動計画」という。）に登載する取組の推進、評価及び検証並びに計画の見直しを行うとともに、連携会議構成団体間の連絡調整等を円滑に行うことにより、<u>（削る）</u> 広域観光連携を総合的かつ計画的に実施することを目的とする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。</p> <p>2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、<u>平成27年5月13日</u>から施行する。</p>	<p>（目的）</p> <p>第2条 連携会議は、<u>北陸新幹線系魚川駅開業がもたらす様々な効果を活かした</u> 広域観光連携を推進するため、北アルプス日本海広域観光連携行動計画（以下「行動計画」という。）に登載する取組の推進、評価及び検証並びに計画の見直しを行うとともに、連携会議構成団体間の連絡調整等を円滑に行うことにより、<u>新幹線開業に向けた</u> 広域観光連携を総合的かつ計画的に実施することを目的とする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。</p> <p>2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。</p>

参 考 資 料

平成 27 年度事業計画書

構 成 団 体 名 簿

幹事会・専門委員会名簿

連 携 会 議 規 約

連 携 会 議 行 動 計 画

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成27年度事業計画書（案）

（単位：千円）

区分	実施時期	事業名		頁	事業費	H27予算額
広域観光PR	6月	広告宣伝	広域観光パンフレットの作成（継続）	1P	450	450
	4月	誘客宣伝	周遊型広域旅行商品の販売促進（継続）	2P	1,000	4,910
	5月		認知度調査および開業効果測定事業（継続）	3P	900	
	5月		出身タレントの活用（継続）	4P	600	
	6月		観光キャンペーンの実施（継続）	5P	1,000	
	7月		記念切手シートの作成（新規）	6P	1,310	
	通年		TV番組の誘致活動（継続）	7P	100	
	通年		広域観光PRの実施（継続）	8P	0	
	通年		HP運営	ホームページ運営管理（継続）	9P	
					5,660	5,660
地域内PR	通年	イベント	出店支援事業（新規）	10P	200	943
	7月		住民見学会の開催（継続）	11P	645	
	3月		開業後記念イベントの参加（新規）	12P	98	
					943	943
二次交通	通年	二次交通	二次交通整備拡充事業（新規）	13P-14P	3,500	3,500
	通年		二次交通ビジョンの策定（新規）	15P	0	
					0	3,500

広告宣伝

広域観光パンフレットの作成（継続）

1 趣旨

当地域及び当会議の認知度向上及び誘客促進を図るため、エリアを網羅した広域観光パンフレットを作成する。

2 事業計画（案）

昨年度作成した”新しい旅”パンフレットの訂正・増刷

(1) 増刷（訂正増刷）回数、部数

1回、30,000部

(2) 規格

A4判 16ページ

(3) 内容

既存のとおり、または周遊ルートの一部差し替え

(4) 市町村へのお願い事項

掲載中の写真の差し替えを希望する場合は、画像を提出
パンフレットの配布について協力賜りたい

3 目標

不特定多数への情報発信

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			訂正増刷	→								

5 事業費（概算）

450,000 円

誘客宣伝

周遊型広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

新しい観光エリアとしての魅力を伝えるべく、広域観光商品を販売する。

2 事業計画（案）

旅行会社への平成27・28年度商品企画の売り込みと開発

【現在販売中のもの】

事業者	日本旅行・ジパング倶楽部
タイトル	～富山から糸魚川へ～『つつじ、さつき、藤、花めぐり庭めぐり』
内容	藤まつり、月華山かねこつつじ園(糸魚川市)、護国寺(朝日町)
出発日	5月10日
事業者	日本旅行・ジパング倶楽部
タイトル	～癒しのひととき 糸魚川から富山へ～『あじさい、ラベンダーめぐり』
内容	相馬御風宅、加賀の井酒造、大王あじさい園(糸魚川市)、 ハーバルバレーおがわ、小川温泉元湯ホテルおがわ、なないろKAN(朝日町)、 黒部宇奈月温泉
出発日	6月25日、6月29日、7月5日、7月10日
事業者	びゅう・大人の休日倶楽部
タイトル	『夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化にふれる2日間』
内容	高田公園、岩の原葡萄園(上越市)、フォッサマグナミュージアム(糸魚川市)、 百河豚美術館(朝日町)、姫川源流自然探勝園(白馬村)、 大町山岳博物館(大町市)
出発日	7月30日

3 目標

認知度向上
来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品企画の開発、売込み											

5 事業費（概算）

1,000,000 円 （ツアー実施協賛金として）

誘客宣伝

認知度調査および開業効果測定事業（継続）

1 趣旨

当地域の認知度調査を行うことで今後の戦略を立てるうえでの効果的資料とする。
北陸新幹線開業の前後で旅行者の意識の変化を数字により把握する。

2 事業計画（案）

< 調査概要 >

平成26年度に実施した同調査を同条件にて実施する。

調査方法 ネットリサーチ

調査対象者 アンケートモニタ会員

対象地域 関東圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

関西圏：大阪府、京都府

沿線都市：群馬県、長野県

北陸三県：富山県、石川県、福井県

対象者数 1,200人（H26年度実績）

調査項目 糸魚川市及び周辺地域の認知度、北陸新幹線開業の認知度、
観光イメージや来訪意欲度等。

3 目標

当地域に対する認知度の把握

北陸新幹線開業前の旅行者の動きの検証

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					準備							
						調査実施						
							集計、報告					

5 事業費（概算）

900,000 円

誘客宣伝

出身タレントの活用（継続）

1 趣旨

タレントの知名度を生かした宣伝を展開することで、当地域の認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

- ・糸魚川出身のよしもと芸人「横澤夏子」を起用し、You Tubeを活用したPRを展開。
- ・6市町村のおススメ観光スポット、お店、人などを取材・紹介し、3～10分程度の動画としてYou Tubeで発信する。

【撮影案】

糸魚川市、上越市	⇒	横澤夏子+バックスクリーン（新潟県住みます芸人）
朝日町	⇒	横澤夏子+フィッシュ&チップス（富山県住みます芸人）
大町市、白馬村、小谷村	⇒	横澤夏子+こてつ（長野県住みます芸人）

3 目標

認知度向上
来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		季節に応じて撮影										
		You Tubeにアップ										

5 事業費（概算）

600,000 円

誘客宣伝

観光キャンペーンの実施（継続）

1 趣旨

開業した北陸新幹線のPRと「北アルプス日本海広域観光連携会議」の魅力について、認知度の向上と誘客促進を高めるためのPRイベントを開催する。

2 事業計画（案）

北陸新幹線開業と連携会議の紹介のほか、各地域の物産の販売を通じ、当地域の認知度向上と来訪意欲の創出を図る。

関係団体との協力により、安価（施設使用料等）で効果の高いPR活動の実施を目指す。

< 実施地域 >

首都圏、沿線都市、北陸圏を想定

< 例として >

ブリッジ新潟（東京都中央区日本橋）、TIC東京（東京都千代田区丸の内）、グランベリーモール（東京都町田市）、ふるさと祭り東京（東京ドーム）、JR大宮駅（さいたま市）など。

3 目標

認知度の向上
来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画調整	→	実施									

5 事業費（概算）

1,000,000 円

誘客宣伝

記念切手シートの作成（新規）

1 趣旨

鉄道ファンをターゲットにした連携会議オリジナル切手シートを作成し、認知度の向上と誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

- (1) 郵便局と共同でオリジナル記念切手シート作成。
一部の観光画像は一般公募により集めることも検討。

【作成案】

- ・ 6市町村の観光資源（風景、祭事等）を撮影したもの 計6種
- ・ キハ52、特急はくたか、寝台特急日本海、臨時寝台特急トワイライトエクスプレス等、当地域に馴染みがり、かつ当地域で撮影された車両 計4種
- ・ 上記10種をひとつのシートに収め、台紙では広域エリアを紹介。
- ・ 切手券面額は82円×10枚

- (2) 販売を連携会議内の郵便局（ネットショップ含む）と糸魚川市観光協会に限定し来訪に繋げる。

3 目標

認知度向上
話題喚起

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				打合せ、制作								
							販売					

5 事業費（概算）

1,310,000 円

<内訳>

- ・ 単価1,230円×1,000シート（最低ロット）=1,230,000円

※売上は連携会議予算の収入に計上する

- ・ ロイヤリティ（販売価格の3%）

⇒1,230円×3%×1,000枚=36,900円×2社（JR東西、北越急行）=73,800円

誘客宣伝

T V番組の誘致活動（継続）

1 趣旨

T V番組での放映を通じ、当地域の魅力を紹介することで来訪意欲の創出ならびに誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

北陸新幹線開業を受けメディアへの露出増が期待されるため、制作側との思惑の一致を図り撮影の誘致を図りたい。なお、必要に応じて協賛といった形で経費協力するものとする。

- ・北陸新幹線の開業により旅行圏域の広がりを伝え、地域の魅力を紹介
- ・糸魚川駅を拠点に各地域と近距離で楽しめることを強調
- ・北陸新幹線のほか、大糸線、えちごトキめき鉄道の利用促進も狙う

3 目標

認知度の向上
誘客促進

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	情報提供と営業活動											

5 事業費（概算）

100,000 円 （必要に応じて他事業から流用）

誘客宣伝

広域観光PRの実施（継続）

1 趣旨

イベントやキャンペーンを通じて、北陸新幹線の開業と連携会議のPRを図り認知度の向上に努める。

2 事業計画（案）

連携会議の各団体が首都圏や関西圏で実施する集客力のあるイベントやキャンペーンにおいて、北陸新幹線開業情報と連携会議の魅力を発信し露出機会を増やすことで認知度向上を図る。

(1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出、パンフレットの配布

(2) 連携会議エリアの観光情報の紹介

なお、合同で出展することでより効果的なPRができるものについては、合同参加を検討する。

【合同参加が考えられる例】 ※H26年度の例による

名称	開催月	参加市町村
・首都圏JR駅キャンペーン	7月	小谷村、白馬村
・北陸・関西方面JR駅キャンペーン	8月	小谷村、白馬村
・ツーリズムEXPOジャパン（東京）	9月	糸魚川市、小谷村、白馬村、大町市
・首都圏JR駅キャンペーン	12月	小谷村、白馬村
・北陸JR駅キャンペーン	12月	糸魚川市

3 目標

不特定多数への情報発信と誘客促進

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施（随時）												
	→											

5 事業費（概算）

0 円 （必要に応じて流用）

HP運営

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。
- (4) オリジナル動画等を配信することで話題性を高める。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

300,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 240,000円
- ・情報更新料 5,000円/月×12カ月＝60,000円

イベント

出店支援事業（新規）

1 趣旨

糸魚川駅周辺で開催されるイベントへの出店支援を行い、開業後の賑わいを創出する。

2 事業計画（案）

助成対象 糸魚川市外の民間事業者、NPO、市民団体ほか連携会議が認める団体
 助成内容 イベント等への出店に要する経費のうち、必要と認められるもの。
 （備品レンタル料、交通費などを想定。飲食費は対象外。）
 助成額 対象事業費の1/2、もしくは5万円のいずれか低い方の額
 対象期間 平成28年3月31日まで

- (1) 補助要綱の整備
- (2) イベントの開催を各自治体広報等を通じて告知
- (3) 交付決定通知

3 目標

賑わいの創出
 連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	随時											

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・ 2団体×50,000円、20団体×5,000円

イベント

住民見学会の開催（継続）

1 趣旨

連携会議市町村内に居住する住民を対象に糸魚川駅及び周辺観光地の見学ツアーを実施し、市民意識の醸成を図る。

2 事業計画（案）

平成26年度事業と同様、事務局が主催とする。

(1) 関係機関との調整等

- ・糸魚川市観光協会へジオパークガイドの協力要請
- ・運行体制の確認と車両の確保
- ・市町村ごとに添乗員1名の協力が必要

(2) 周知等

- ・広報による周知と募集

(3) 運行計画

< 概 要 >

実施日	秋の観光シーズンの土曜又は日曜日（日帰り・1回催行） ※開業後記念イベント（10月予定）に合わせるか？ ※国際ご当地グルメグランプリ2015in糸魚川（10/3～4）に合わせるか？
コース	・大町、白馬、小谷方面からバス2台 ・上越方面、朝日方面からバス各1台
対象者	連携会議市町村内に居住する住民
募集人数	バス1台につき25～40名
内容	・糸魚川駅の見学と体験 ・周辺地域の観光（フォッサマグナミュージアム見学等）
参加費	大人1人あたり2,000円～2,500円（昼食代・入館料分）

3 目標

住民意識の醸成、糸魚川駅の利用促進

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				プラン策定、手配 →								
						周知、募集、催行 →						

5 事業費（概算）

645,000 円

<内訳>

- ・バス借上代 130,000円/日×4本=520,000円
- ・ガイド料 5,000円/日×4コース=20,000円
- ・旅行災害保険 250円/人×100人=25,000円
- ・入館料 400円×2カ所×100人=80,000円

イベント

開業後記念イベントの参加（新規）

1 趣旨

開業後の盛り上がりを発信するとともに、連携会議エリアの交流人口の拡大に繋げる。

2 事業計画（案）

(1) 開業後記念イベント（平成27年10月頃実施予定）

◇ 実施概要 ※想定

糸魚川及び連携会議ならではの内容で話題性を高め、開業後の盛り上がり
を市内だけではなく市外、県外にアピールしていく。

(2) 開業1周年記念イベント（平成28年3月頃実施予定）

◇ 実施概要 ※想定

開業1周年を祝うとともに、糸魚川及び連携会議ならではの内容で話題性
を高め、開業後の盛り上がり市内だけではなく市外、県外にアピールして
いく。

3 目標

情報発信
交流人口の拡大

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						準備					準備	
						→	実施				→	実施
							→					→

5 事業費（概算）

98,000 円

二次交通

二次交通整備拡充事業（新規）

1 趣旨

来訪者にオンデマンドの利便性を提供するため、二次交通の整備、あるいはサービスの提供を行う。

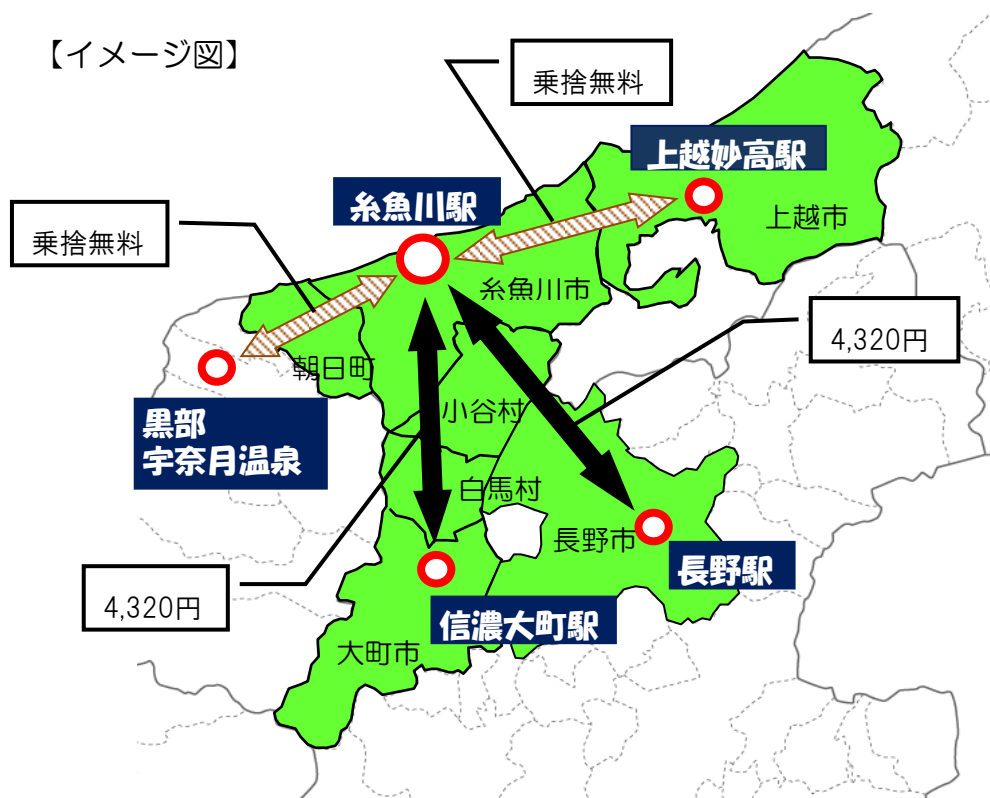
2 事業計画（案）

(1) レンタカー利用者の乗捨て料金の補助

- ・糸魚川営業所（JR西管内）と信濃大町営業所および長野営業所（以上、JR東管内）間で、糸魚川営業所を発営業所、もしくは着営業所とする乗捨て利用に対し、乗捨て料金の全額を補助する。
- ・期間を限定し、今年度は試験的に実施する。

<例>夏季シーズン（7/25～8/31）、紅葉シーズン（9/19～11/23）

【イメージ図】

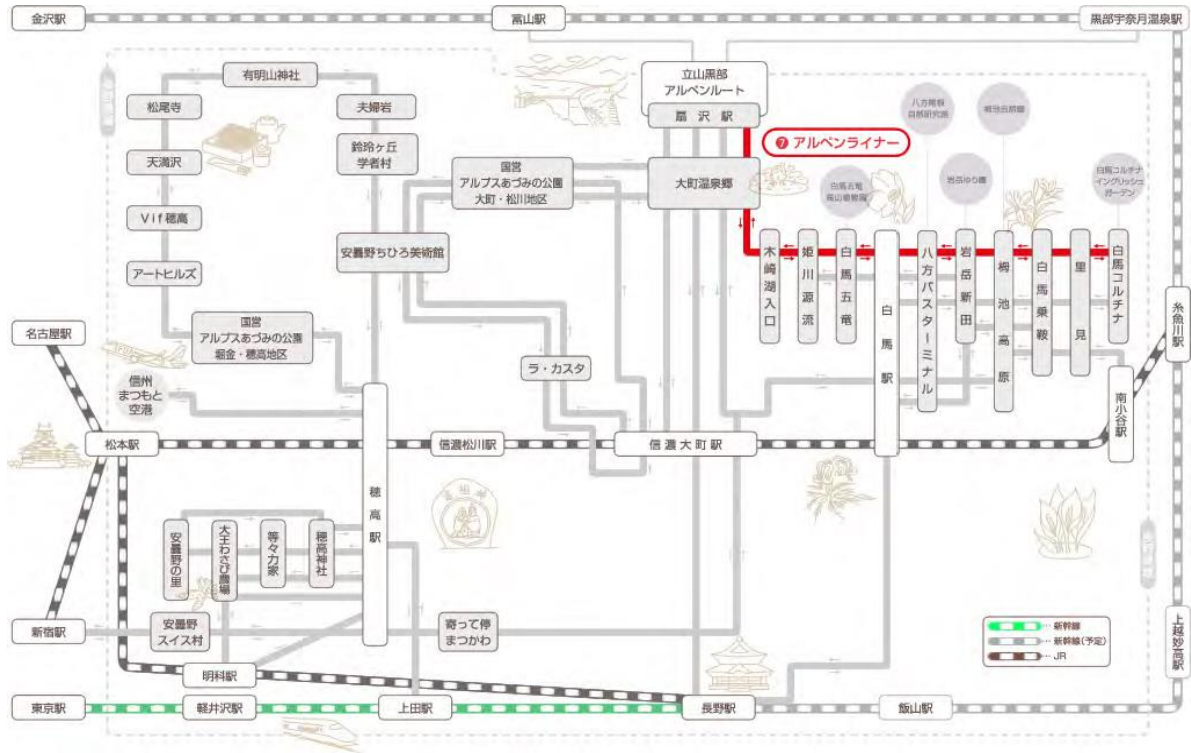


(2) レンタカー利用者への施設優待券等の提供

- ・連携会議エリア内に存する観光施設の割引利用券（美術館、博物館、資料館等）を提供することで、観光流動を創出するとともにエリアの活性化を図る。

(3) 特急バスの延伸の検討

- ① 扇沢～白馬コルチナ間を運行するアルペンライナー（夏季限定・特急バス白馬扇沢線）を糸魚川駅まで延伸し、双方向での流動性を高める。



② 長野駅東口～白馬乗鞍間を運行する特急バス長野－白馬線を糸魚川駅まで延伸し、双方向での流動性を高める。

■現在のルート：長野駅東口→白馬駅→白馬八方バスターミナル→白馬乗鞍

■運行期間：4月1日～12月中旬

(4) 鉄道見所マップの作成

- ・大糸線、えちごトキめき鉄道路線における利用者のみが味わえる見所マップを作成する。

3 目標

利用者サービスの向上

交流人口の拡大

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各事業者との協議、調整												
鉄道見所マップの作成												

5 事業費（概算）

3,500,000 円

<内訳>

- ・レンタカー補助 5,000円×100件=500,000円
- ・特急バス運行負担金 1,500,000円
- ・鉄道見所マップ 1,500,000円

二次交通

二次交通ビジョンの策定（新規）

1 趣旨

二次交通の可能性と充実化を図るため、将来に向けた実効性の高い交通ビジョンを策定する。

2 事業計画（案）

- ①連携会議エリアにおける二次交通のあり方と可能性を検討し、青写真を描く。
- ②交通事業者（鉄道、バス、タクシー等）を交え、糸魚川駅を中心とした二次交通網の検討と実現化に向けた協議を行う。

【検討案】

大糸線の魅力アップ対策の検討（駅舎アート、車内ラッピング、ガイド添乗等）
 エリア内における観光流動の創出と送客（誘客）する仕組みづくりの検討
 シャトルバス、定期観光バス、観光タクシー、企画切符等の検討・提案
 新幹線利用者を対象とした割引特典等の検討・提案
 JRへのリゾート列車、びゅうバス等の運行要請

3 目標

二次交通の環境整備に向けた検討
 周遊ルートの制度設計

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討												

5 事業費（概算）

0 円

北アルプス日本海広域観光連携会議 構成団体名簿

区 分	団 体 名	備 考
市町村	新潟県糸魚川市	
	新潟県上越市	北陸本線沿線のみ
	長野県大町市	
	長野県白馬村	
	長野県小谷村	
	富山県朝日町	
国県	新潟県糸魚川地域振興局	
	長野県北安曇地方事務所	
観光団体	糸魚川市観光協会	
	公益社団法人上越観光コンベンション協会	
	大町市観光協会	
	一般社団法人白馬村観光局	
	一般社団法人小谷村観光連盟	
	朝日町観光協会	
商工団体	糸魚川商工会議所	
	能生商工会	
	青海町商工会	
	上越商工会議所	
	大町商工会議所	
	白馬商工会	
	小谷村商工会	
	朝日町商工会	
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	北陸広域鉄道部
	えちごトキめき鉄道株式会社	
	糸魚川バス株式会社	
	頸城自動車株式会社	
	アルピコ交通株式会社	

北アルプス日本海広域観光連携会議規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会議は、北アルプス日本海広域観光連携会議（以下「連携会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 連携会議は、糸魚川市を中心とした周辺市町村及び関係団体との広域観光連携を推進するため、北アルプス日本海広域観光連携行動計画（以下「行動計画」という。）に登載する取組の推進、評価及び検証並びに計画の見直しを行うとともに、連携会議構成団体間の連絡調整等を円滑に行うことにより、広域観光連携を総合的かつ計画的に実施することを目的とする。

第2章 組織等

(組織)

第3条 連携会議は、別表に掲げる団体をもって組織する。

(役員)

第4条 連携会議に、次の役員を置く。

会 長 1名
副会長 若干名
監 事 2名

2 役員は、総会において決定する。

(役員の職務)

第5条 会長は、連携会議を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

3 監事は、連携会議の会計を監査し、その結果を総会において報告する。

第3章 総会

(総会)

第6条 総会は、次の事項を議決する。

行動計画及び規約の制定又は変更に関すること。

事業計画に関すること。

収入支出予算及び決算に関すること。

役員を選任に関すること。

その他会長が必要と認める事項に関すること。

2 総会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(専決処分)

第7条 会長は、総会を招集する時間的猶予がないときは、前条第1項各号に掲げる事項について専決することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告し、その承認を得なければならない。

第4章 幹事会

(幹事会)

第8条 連携会議の目的を円滑に遂行するため、幹事会を設置する。

2 幹事会は、連携会議の構成団体からの推薦する者により組織する。

3 幹事会は、次に掲げる活動を行う。

連携会議の円滑な運営の補助

行動計画に基づく事業の重点化に関する協議

専門委員会の連絡調整

第5章 専門委員会

(専門委員会)

第9条 連携会議は、専門的な事項を検討し、推進するため、専門委員会(以下「委員会」という。)を設置することができる。

2 委員会は、連携会議の要請により必要に応じて組織する。

3 委員会の委員は、検討する事項により幹事会で協議し、関係する団体からの推薦により決定する。

(委員長等)

第10条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき、又は委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(委員会の会議)

第11条 委員長は、委員会を招集し、その会議の座長となる。

2 座長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

第6章 事務局

(事務局)

第12条 連携会議、幹事会、委員会等の会務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長及び事務局次長を置き、会長が任命する。
- 3 事務局は、構成団体のうち県及び市町村の担当課と糸魚川市観光協会が担任し、事務所は、糸魚川市産業部交流観光課に置く。

第7章 会 計

(会計)

第13条 連携会議の経費は、負担金、補助金、寄付金、協賛金その他の収入をもって充てる。

- 2 連携会議の会計は、糸魚川市財務規則に準拠し、糸魚川市財務規則のうち課長専決以下は事務局長の、それ以外は会長の決裁により、事務局長が執行する。
- 3 予算の管理は、事務所で行い、監事の監査を受けるものとする。

(会計年度)

第14条 連携会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8章 解 散

(解散)

第15条 連携会議は、第2条に掲げる目的を達成したときに解散する。

第9章 補 足

(補足)

第16条 この規約に定めるもののほか、連携会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。
- 2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。

附 則

- 1 この規約は、平成27年5月13日から施行する。

北アルプス日本海広域観光連携会議 行動計画

北アルプス日本海広域観光連携会議は、北陸新幹線系魚川駅開業がもたらす様々な効果を活かした広域観光連携を推進するため、次に掲げる事業に取り組む。

- 1 広域観光連携の推進
 - 周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動
 - 祭りやイベントの広域連携
 - 効果測定等の調査
- 2 交通事業者との連携
 - 二次交通の充実と連携
 - イベント列車などの運行
- 3 連携した情報発信
 - ポスターや観光パンフなど広域観光情報の発信
 - 誘客PR、観光物産イベント等への共同参加
- 4 連携した新幹線開業イベントの開催
 - 開業イベントの情報交換
 - 連携したイベントの開催
- 5 新幹線系魚川駅の利便性向上
 - 新幹線系魚川駅の近隣市町村専用の駐車場確保
 - JR大糸線、並行在来線等の利便性の向上
 - アクセス道路の整備促進
- 6 その他新幹線開業の効果を活かすことができると考えられる連携事業